

平成22年11月1日

情報系システム基盤「知恵の環」の更改について

株式会社百五銀行（本店 三重県津市、頭取 上田 豪）は、平成22年11月2日（火）から新しい行内の情報系システム基盤（行内名称：知恵の環）の全店展開を開始しますのでお知らせします。

新しいシステム基盤は、「シンクライアント」（ ）および「仮想化」の技術（ ）を導入して構築するとともに、クラウドコンピューティング（企業内クラウド）の形態で使用することも視野に入れており、今後の当行システムの拡張性の確保とあわせて合理化、最適化に活かしていく予定です。情報セキュリティの強化を図るとともに、パソコンの調達費用やサーバ保守費などのコストを向後5年間で1.5億円削減できると試算しています。

なお、東海三県の地方銀行で、全店規模のシンクライアント導入は、初めてとなります。

「シンクライアント」とは…必要最低限の機能のみを搭載したパソコンを使用して、サーバ側にあるソフトウェアやデータを利用する形態のシステムの総称。

「仮想化」の技術とは…1台のサーバのリソース（メモリ、ディスク等）を分割し、サーバが複数動作しているように見せる技術。この技術により1台のサーバ上に複数のシステムを同時に実行することができます。

記

1 更改日程

- （1）センターサーバ 平成22年10月12日（火）更改済。
- （2）営業店展開 平成22年10月に3か店で試行し、平成22年11月2日（火）から平成23年2月23日（水）までの間に約150の拠点に順次展開。

2 更改理由

- （1）サーバのハードウェア保守期限の到来
- （2）Windows XPのサポート終了による同OSを搭載したパソコンの販売終了

3 効果

- （1）情報セキュリティの強化（情報漏洩対策）
シンクライアント化によりパソコンにはデータを保有せず、営業店に設置していたサーバも撤去するため、情報セキュリティの強化が図れます。
- （2）システムの保守性向上
シンクライアント化によりパソコンはセンターでの一括管理が容易になり、保守対象のサーバはセンター集約設置で運用性・保守性が向上します。
- （3）パソコンの機種やOSに依存しないクライアント環境の構築
現在使用中のWindows XPパソコンをシンクライアントに再構築して継続使用が可能であり、新たにパソコンを購入するコストを抑制（平準化）できます。
- （4）パソコン作業の効率改善
サーバ上でプログラムを実行する方式であるため、処理速度が速くなり、作業効率が向上します。

4 システム構成の概要

次頁の「『知恵の環』更改の概要」をご参照ください。

(1) シンクライアント

約2,400台の行内パソコンをシンクライアントに再構築し、キーボードやマウスからの入力情報をセンターのサーバ(79台)に転送し、サーバ上でプログラムを実行した後、その結果をパソコン画面に表示する方式とします。

(2) 仮想化

センターサーバは仮想化の技術を用いて構築し、センターと営業店に分散して設置されている175台のサーバを22台に集約・統合します。

なお、本システム基盤は株式会社CSK、日本ユニシス株式会社(ユニアデックス株式会社)、富士通株式会社の各社に協力をいただき、構築しています。

以上

【添付資料】『知恵の環』更改の概要

従来

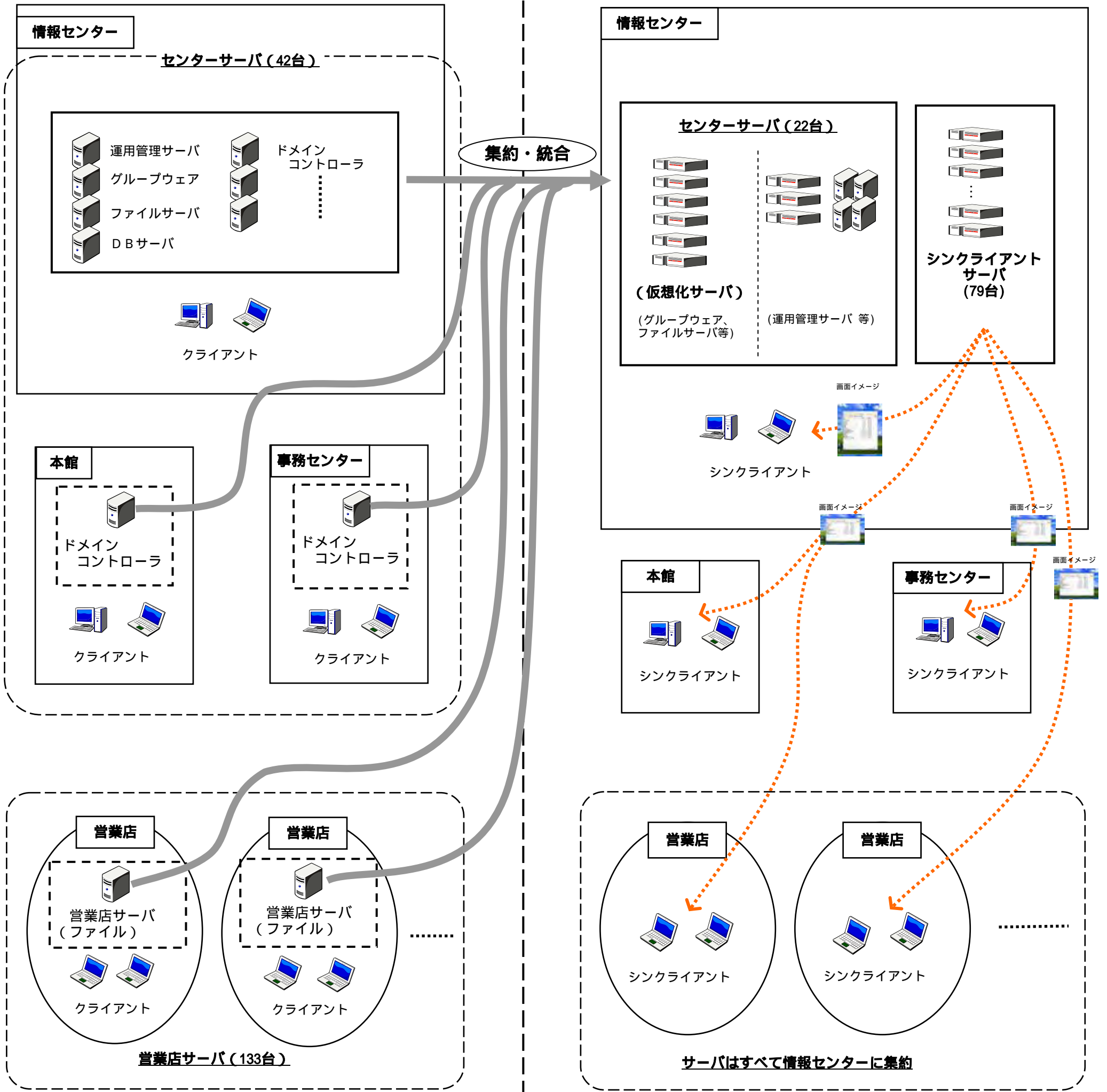
更改後

センターサーバ 42台
 営業店(ファイル)サーバ 133台
 └──────────┬──────────┘
 175台

センターサーバ 22台
 シンククライアントサーバ 79台

クライアント(パソコン) 約2,400台

シンククライアント(パソコン) 約2,400台



【ご参考】

- ドメインコントローラ : Windowsネットワークにおいてコンピュータやユーザの認証を行うための情報を一括管理するサーバ
- DBサーバ : データベース管理システムが稼働し、データの読み込み、書き換えなどを行うサーバ
- ファイルサーバ : 記憶装置をネットワーク上のコンピュータが共有して利用できるようにしているサーバ
- グループウェア : 情報共有やコミュニケーションの効率化をはかり、グループの協調作業を支援するソフトウェア